

平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年10月31日

上場会社名 ソーシャルワイヤー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3929 URL https://www.socialwire.net/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢田 峰之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役社長室長 (氏名) 藤原 直美 TEL 03-5363-4872
 四半期報告書提出予定日 平成30年10月31日 配当支払開始予定日 平成30年11月15日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	1,567	14.1	185	3.4	176	0.1	116	△5.4
30年3月期第2四半期	1,372	17.7	178	67.3	175	83.8	122	137.3

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 99百万円 (△21.2%) 30年3月期第2四半期 126百万円 (859.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	19.85	19.34
30年3月期第2四半期	22.13	20.64

(注) 当社は、平成29年9月11日開催の取締役会決議により、平成29年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	2,949	1,209	39.8	200.85
30年3月期	2,779	1,139	39.6	188.65

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 1,174百万円 30年3月期 1,103百万円

(注) 当社は、平成29年9月11日開催の取締役会決議により、平成29年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	10.00	—	5.00	—
31年3月期	—	5.50	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	5.50	11.00

(注) 1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 2. 当社は、平成29年9月11日開催の取締役会決議により、平成29年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成30年3月期の第2四半期以前の配当金については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。平成30年3月期期末、平成31年3月期第2四半期末、平成31年3月期(予想)の期末の1株当たり配当金については、当該株式分割後の配当金の額を記載しております。

3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,090	10.0	400	13.2	380	10.1	270	6.2	45.00

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期2Q	5,925,800株	30年3月期	5,925,800株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	76,964株	30年3月期	76,964株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期2Q	5,848,836株	30年3月期2Q	5,544,742株

(注) 当社は、平成29年9月11日開催の取締役会決議により、平成29年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、好調な外需や設備投資、市況の改善などを背景に、緩やかな景気回復基調で推移しているものの、海外経済の不確実性の高まりなど、先行き不透明な状況が続いております。

このような市場環境のもと、当社グループは「アジアBP0プラットフォームの構築」をビジョンとし、既存事業の拡大・売上高の最大化に注力し足元の業績を成長させてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は1,567,585千円（前年同期比14.1%増）、営業利益185,106千円（前年同期比3.4%増）、経常利益176,076千円（前年同期比0.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益116,121千円（前年同期比5.4%減）となりました。

各セグメント別の業績は、以下のとおりであります。なお、以下の数値はセグメント間の取引消去後となっております。

(ニュースワイヤー事業)

ニュースワイヤー事業は、企業や官公庁・団体等に対して、製品やサービス、事業等に関するプレスリリース文書の校正や配信メディアの選定から、リリース配信、掲載結果の調査・報告を実施しております。また、株式会社Find Modelを子会社化し、新たにインフルエンサーマーケティングサービスを開始いたしました。

プレスリリース配信代行サービス「@Press」については従量配信数が増加（前年同期比4.8%増）し、単価についてはほぼ横ばいとなりました。メディアクリッピングサービス「@クリッピング」については案件数はほぼ横ばい（前年同期比2.9%増）、単価については増加いたしました。

この結果、ニュースワイヤー事業の売上高は771,130千円（前年同期比15.1%増）となり、セグメント利益は234,981千円（前年同期比4.9%減）となりました。

(インキュベーション事業)

インキュベーション事業は、アジア主要8都市（東京（新宿2拠点、六本木、青山、渋谷）、仙台、シンガポール、インドネシア（※）、インド、ベトナム、フィリピン、タイ）でレンタルオフィス「CROSSCOOP」を運営しております。

当第2四半期連結累計期間においては、5月にタイ拠点、6月に新宿拠点を増床いたしました。これにより国内拠点については累積稼働席数が大幅に増加（前年同期比19.7%増）し、単価についても増加いたしました。海外拠点については累積稼働席数がほぼ横ばい（前年同期比2.9%減）、単価についてもほぼ横ばいとなりました。

この結果、インキュベーション事業の売上高は673,155千円（前年同期比14.4%増）となり、セグメント利益は94,174千円（前年同期比141.6%増）となりました。

（※）インドネシアはフランチャイズによる運営です。

(その他)

各報告セグメントに属さないトランススマート株式会社のクラウド翻訳事業については新規事業として取り組んでおり、現状は「その他」の区分としております。

当第2四半期連結累計期間については、クラウド翻訳サービス「TRANSMART」の更なる新規顧客開拓を行ってまいりました。

この結果、その他の売上高は123,299千円（前年同期比7.0%増）となり、セグメント利益は3,675千円（前年同期比17.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産の額は2,949,773千円と、前連結会計年度末に比べ169,823千円の増加となりました。資産の増加の主な原因は、建物が81,593千円増加、工具、器具及び備品が25,373千円増加、のれんが199,488千円増加があった一方で、現金及び預金が113,622千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債の額は1,739,903千円と、前連結会計年度末に比べ99,095千円の増加となりました。負債の増加の主な原因は、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む。）が81,916千円増加、未払金が19,503千円増加があった一方で、法人税等の支払により未払法人税等が21,384千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の額は1,209,869千円と、前連結会計年度末に比べ70,728千円の増加となりました。純資産の増加の主な原因は、親会社株主に帰属する四半期純利益116,121千円の計上による増加があった一方で、為替換算調整勘定が15,440千円減少、配当金の支払により29,244千円減少したことによるものであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較分析を行っております。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は748,312千円と、前連結会計年度末に比較して113,622千円の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は218,685千円（前年同期比24.9%減）となりました。これは税金等調整前四半期純利益176,115千円、減価償却費98,830千円、のれん償却額20,151千円、未払金の増加額9,032千円等があった一方、法人税等の支払額86,368千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は378,808千円（前年同期比58.3%増）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出128,946千円、無形固定資産の取得による支出27,619千円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出223,042千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は52,672千円（前年同期比53.9%減）となりました。これは、長期借入れによる収入206,813千円があった一方、長期借入金の返済による支出124,897千円、配当金の支払額29,244千円によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の通期の業績見通しについては、当第2四半期連結累計期間の実績が見通しに沿って推移しているため、平成30年4月27日に公表した業績見通しから変更はありません。

なお、業績見通しは、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因等により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	861,934	748,312
受取手形及び売掛金	173,607	209,654
その他	138,773	138,415
貸倒引当金	△5,218	△4,209
流動資産合計	1,169,096	1,092,172
固定資産		
有形固定資産		
建物	875,859	957,453
工具、器具及び備品	241,553	266,926
その他	11,139	12,193
減価償却累計額	△400,595	△438,469
有形固定資産合計	727,956	798,103
無形固定資産		
のれん	47,809	247,298
ソフトウェア	206,365	207,904
その他	7,110	3,816
無形固定資産合計	261,285	459,019
投資その他の資産		
差入保証金	439,602	428,897
その他	207,815	196,836
貸倒引当金	△25,807	△25,256
投資その他の資産合計	621,610	600,478
固定資産合計	1,610,852	1,857,601
資産合計	2,779,949	2,949,773

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	229,585	246,925
未払金	160,094	179,598
未払法人税等	84,515	63,130
前受金	429,155	432,996
資産除去債務	8,001	—
その他	170,054	181,120
流動負債合計	1,081,406	1,103,771
固定負債		
長期借入金	385,774	450,350
資産除去債務	170,107	182,392
その他	3,520	3,389
固定負債合計	559,401	636,131
負債合計	1,640,807	1,739,903
純資産の部		
株主資本		
資本金	335,330	335,330
資本剰余金	277,330	277,330
利益剰余金	510,653	597,492
自己株式	△45,107	△45,107
株主資本合計	1,078,206	1,165,045
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△9	△22
為替換算調整勘定	25,168	9,727
その他の包括利益累計額合計	25,158	9,705
新株予約権	1,633	2,159
非支配株主持分	34,143	32,959
純資産合計	1,139,141	1,209,869
負債純資産合計	2,779,949	2,949,773

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	1,372,836	1,567,585
売上原価	686,299	783,091
売上総利益	686,537	784,494
販売費及び一般管理費	507,653	599,388
営業利益	178,883	185,106
営業外収益		
受取利息	1,115	1,117
受取手数料	913	1,160
助成金収入	100	855
その他	1,127	742
営業外収益合計	3,256	3,875
営業外費用		
支払利息	3,659	3,257
支払手数料	—	6,700
為替差損	2,713	1,936
その他	36	1,011
営業外費用合計	6,409	12,905
経常利益	175,730	176,076
特別利益		
新株予約権戻入益	—	39
特別利益合計	—	39
特別損失		
減損損失	2,344	—
特別損失合計	2,344	—
税金等調整前四半期純利益	173,385	176,115
法人税、住民税及び事業税	51,503	57,280
法人税等調整額	△4,041	2,703
法人税等合計	47,462	59,984
四半期純利益	125,922	116,131
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,171	10
親会社株主に帰属する四半期純利益	122,751	116,121

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	125,922	116,131
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△12
為替換算調整勘定	435	△16,634
その他の包括利益合計	435	△16,647
四半期包括利益	126,358	99,484
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	123,077	100,668
非支配株主に係る四半期包括利益	3,281	△1,183

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	173,385	176,115
減価償却費	80,068	98,830
減損損失	2,344	—
のれん償却額	4,952	20,151
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△451	△450
受取利息	△1,115	△1,117
支払利息	3,659	3,257
支払手数料	—	6,700
為替差損益 (△は益)	2,713	1,936
投資事業組合運用損益 (△は益)	—	△524
売上債権の増減額 (△は増加)	4,756	△11,863
前受金の増減額 (△は減少)	29,916	1,848
未払金の増減額 (△は減少)	30,956	9,032
その他	△6,792	3,277
小計	324,394	307,193
利息の受取額	1,115	1,117
利息の支払額	△3,751	△3,257
法人税等の支払額	△30,367	△86,368
営業活動によるキャッシュ・フロー	291,391	218,685
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△142,151	△128,946
無形固定資産の取得による支出	△30,365	△27,619
資産除去債務の履行による支出	—	△9,300
投資有価証券の取得による支出	△25,000	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△223,042
貸付けによる支出	△26,696	—
貸付金の回収による収入	2,097	2,135
差入保証金の回収による収入	—	11,889
差入保証金の差入による支出	△17,050	△3,924
投資活動によるキャッシュ・フロー	△239,166	△378,808
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	237,188	206,813
長期借入金の返済による支出	△99,087	△124,897
新株予約権の行使による株式の発行による収入	25,270	—
自己株式の取得による支出	△130	—
配当金の支払額	△48,845	△29,244
財務活動によるキャッシュ・フロー	114,394	52,672
現金及び現金同等物に係る換算差額	△688	△6,170
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	165,929	△113,622
現金及び現金同等物の期首残高	500,134	861,934
現金及び現金同等物の四半期末残高	666,064	748,312

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間において、株式会社Find Modelの株式取得を行い、子会社としたため、連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	ニュースワイヤー 事業	インキュベーション 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	669,655	587,960	1,257,615	115,220	1,372,836	—	1,372,836
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	494	494	△494	—
計	669,655	587,960	1,257,615	115,715	1,373,331	△494	1,372,836
セグメント利益	247,170	38,978	286,148	4,430	290,579	△111,696	178,883

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業として取り組んでいる翻訳事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△111,696千円は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ニュースワイヤー事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は当第2四半期連結累計期間において2,344千円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	ニュースワイヤー 事業	インキュベーション 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	771,130	673,155	1,444,286	123,299	1,567,585	—	1,567,585
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	353	353	△353	—
計	771,130	673,155	1,444,286	123,653	1,567,939	△353	1,567,585
セグメント利益	234,981	94,174	329,155	3,675	332,831	△147,725	185,106

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業として取り組んでいる翻訳事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△147,725千円は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ニュースワイヤー事業」セグメントにおいて、株式会社Find Modelの株式取得に伴い、第1四半期連結会計期間より、同社を連結の範囲に含めております。これに伴うのれんの増加額は219,640千円であります。